



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 紀陽銀行

コード番号 8370 URL <https://www.kiyobank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 原口 裕之

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員経営企画本部長 (氏名) 丸岡 範夫 TEL 073-426-7133

配当支払開始予定日 —

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	35,718	31.4	10,806	22.4	7,469	18.5
2026年3月期第1四半期	27,189	14.7	8,830	71.8	6,304	69.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 5,515百万円(△46.9%) 2026年3月期第1四半期 10,396百万円(－%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2027年3月期第1四半期	115	95	115	88
2026年3月期第1四半期	98	42	98	35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,172,761	248,990	4.0
2026年3月期	6,118,931	248,566	4.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 247,924百万円 2026年3月期 247,480百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2026年3月期	—	58.00	—	79.00	137.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	78.00	—	26.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当行は、2026年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施する予定です。2027年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「—」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2027年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は78円00銭、1株当たり年間配当金額は1株当たり156円00銭となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	18,000	22.7	12,200	36.6	63.13
通期	36,600	13.1	25,000	14.6	129.37

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 予想1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割が2027年3月期の期首に行われたものと仮定して算出しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の予想1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)で189円40銭、通期で388円11銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期 1 Q	67,300,000株	2026年3月期	67,300,000株
2027年3月期 1 Q	2,887,845株	2026年3月期	2,885,206株
2027年3月期 1 Q	64,413,409株	2026年3月期 1 Q	64,064,093株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

※2027年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、預金等利息が増加したものの、貸出金利息が増加したことなどにより、資金利益は増加しました。また、株式等関係損益や役務取引等利益は増加したものの、国債等債券損益は減少しました。

以上などにより、経常収益は前年同期比85億29百万円増加の357億18百万円、経常費用は前年同期比65億53百万円増加の249億11百万円、経常利益は前年同期比19億76百万円増加の108億6百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比11億65百万円増加の74億69百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が6兆1,727億円、純資産が2,489億円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出等が増加したことなどから、前連結会計年度末比484億円増加の4兆3,930億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、前連結会計年度末比1,568億円増加の5兆1,023億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における実績が業績予想に対して順調に推移しているため、2026年5月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金預け金	837,737	842,299
買入金銭債権	0	0
商品有価証券	0	0
金銭の信託	8,497	8,465
有価証券	795,229	784,872
貸出金	4,344,661	4,393,085
外国為替	3,446	3,484
その他資産	54,725	65,561
有形固定資産	35,906	35,861
無形固定資産	3,736	3,782
退職給付に係る資産	34,357	34,489
繰延税金資産	11,203	11,571
支払承諾見返	8,899	8,423
貸倒引当金	△19,471	△19,137
資産の部合計	6,118,931	6,172,761
負債の部		
預金	4,825,077	4,993,801
譲渡性預金	120,436	108,533
コールマネー及び売渡手形	—	10,000
売現先勘定	4,892	4,829
債券貸借取引受入担保金	116,443	58,007
借用金	726,997	674,084
外国為替	677	524
その他負債	64,972	63,514
退職給付に係る負債	24	24
睡眠預金払戻損失引当金	36	26
偶発損失引当金	443	507
本店建替損失引当金	1,227	1,227
繰延税金負債	237	265
支払承諾	8,899	8,423
負債の部合計	5,870,365	5,923,770
純資産の部		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	2,793	2,793
利益剰余金	189,932	192,312
自己株式	△4,742	△4,743
株主資本合計	268,080	270,459
その他有価証券評価差額金	△27,523	△29,135
繰延ヘッジ損益	△31	△23
退職給付に係る調整累計額	6,954	6,624
その他の包括利益累計額合計	△20,600	△22,535
新株予約権	62	62
非支配株主持分	1,023	1,004
純資産の部合計	248,566	248,990
負債及び純資産の部合計	6,118,931	6,172,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
経常収益	27,189	35,718
資金運用収益	16,980	20,669
(うち貸出金利息)	12,627	15,818
(うち有価証券利息配当金)	3,288	3,221
役務取引等収益	4,705	5,094
その他業務収益	2,647	3,766
その他経常収益	2,856	6,186
経常費用	18,358	24,911
資金調達費用	3,271	4,773
(うち預金利息)	1,972	3,582
役務取引等費用	1,474	1,480
その他業務費用	3,151	7,381
営業経費	9,122	9,754
その他経常費用	1,340	1,522
経常利益	8,830	10,806
特別利益	4	—
固定資産処分益	4	—
特別損失	59	4
固定資産処分損	2	4
減損損失	57	—
税金等調整前四半期純利益	8,775	10,802
法人税、住民税及び事業税	2,212	2,866
法人税等調整額	255	483
法人税等合計	2,467	3,349
四半期純利益	6,307	7,452
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,304	7,469

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	6,307	7,452
その他の包括利益	4,088	△1,936
その他有価証券評価差額金	4,381	△1,613
繰延ヘッジ損益	△48	7
退職給付に係る調整額	△244	△330
四半期包括利益	10,396	5,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,393	5,533
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他	合 計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行業				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	24,442	2,747	27,189	—	27,189
セグメント間の内部 経常収益	88	479	567	△567	—
計	24,530	3,226	27,757	△567	27,189
セグメント利益	8,471	361	8,833	△2	8,830

- (注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業務、職業紹介業務、信用保証業務、リース業務、投資業務、クレジットカード業務、プログラム作成・販売、計算受託業務を含んでおります。
- 3 セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業」セグメントにおいて、一部の固定資産について、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額に満たないことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、57百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他	合 計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行業				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	32,929	2,788	35,718	—	35,718
セグメント間の内部 経常収益	118	582	700	△700	—
計	33,047	3,370	36,418	△700	35,718
セグメント利益	10,580	196	10,777	29	10,806

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業務、職業紹介業務、信用保証業務、リース業務、投資業務、クレジットカード業務、プログラム作成・販売、計算受託業務を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額29百万円は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	779百万円	818百万円

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況(単体)		P 1
2. 主要勘定、預かり資産の状況(単体)		P 2
3. 自己資本比率(連結)(単体)		P 2
4. 時価のある有価証券の評価差額(単体)		P 3
5. 金融再生法開示債権(単体)		P 3
6. 消費者ローン残高(単体)		P 3

(注) 1. 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株式会社 紀陽銀行

1. 損益の状況

- 当第1四半期の経営成績につきましては、貸出金利息の増加が預金等利息の増加を上回ったことなどにより資金利益が増加したことや、役務取引等利益が増加したことなどから、コア業務純益は前年同期比28億円増加の102億円となりました。その他、引き続き政策投資株式の売却による縮減や低利回りの国内債の売却なども実施し、経常利益は前年同期比21億円増加の105億円、四半期純利益は前年同期比13億円増加の73億円となりました。
- 「銀行の本業で稼ぐ力」を示す重要な指標と位置付けている顧客向けサービス業務利益は、貸出金平残の増加や預貸金金利回差の拡大、及び役務取引等利益が増加したことから、前年同期比15億円増加の64億円となり、順調に推移しております。

(単位：百万円)

(単体)		2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	
			前年同期比	
1	経常収益	33,047	8,517	24,530
2	業務粗利益	14,900	△ 425	15,325
3	資金利益	15,950	2,214	13,736
4	うち貸出金利息	15,873	3,218	12,655
5	うち有価証券利息配当金	3,223	△ 66	3,289
6	うち投資信託解約損益	13	△ 214	227
7	うち預金等利息 (△)	3,829	1,797	2,032
8	役務取引等利益	2,807	377	2,430
9	その他業務利益	△ 3,857	△ 3,016	△ 841
10	うち国債等債券損益	△ 4,864	△ 3,962	△ 902
11	経費 (除く臨時処理分) (△)	9,541	715	8,826
12	実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	5,359	△ 1,140	6,499
13	うちコア業務純益	10,223	2,822	7,401
14	うちコア業務純益 (除く投資信託解約損益)	10,210	3,037	7,173
15	一般貸倒引当金繰入額① (△)	189	20	169
16	業務純益	5,169	△ 1,160	6,329
17	臨時損益	5,411	3,271	2,140
18	不良債権処理額② (△)	457	△ 370	827
19	(与信費用①+② (△))	(647)	(△ 349)	(996)
20	うち貸出金償却 (△)	423	282	141
21	うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	△ 149	△ 746	597
22	償却債権取立益	44	△ 185	229
23	株式等関係損益	4,612	2,863	1,749
24	その他臨時損益	1,212	225	987
25	経常利益	10,581	2,111	8,470
26	特別損益	△ 4	51	△ 55
27	税引前四半期純利益	10,576	2,161	8,415
28	法人税等合計 (△)	3,276	840	2,436
29	法人税、住民税及び事業税 (△)	2,748	660	2,088
30	法人税等調整額 (△)	527	180	347
31	四半期純利益	7,300	1,322	5,978
32	与信コスト総額 (△)	603	△ 133	736
33	顧客向けサービス業務利益	6,409	1,539	4,870

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。
2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。
3. 顧客向けサービス業務利益は、以下の通りです。
- 顧客向けサービス業務利益＝貸出金平残×預貸金金利回差＋役務取引等利益－営業経費
4. (△)は損失項目です。

2. 主要勘定、預かり資産の状況 (単体)

(単位: 百万円)

	(期末残高)	2026年6月末	2026年3月末比		2026年3月末	2025年6月末
			2026年3月末比	2025年6月末比		
1	貸出金	4,420,164	49,163	202,106	4,371,001	4,218,058
2	うち中小企業等貸出金	3,350,187	31,625	170,259	3,318,562	3,179,928
3	預金・譲渡性預金合計	5,124,459	156,402	234,263	4,968,057	4,890,196
4	うち預金	5,005,926	168,305	229,674	4,837,621	4,776,252
5	うち個人預金	3,316,283	63,818	85,320	3,252,465	3,230,963
6	預かり資産残高	608,896	49,282	91,153	559,614	517,743
7	投資信託	265,560	43,819	71,510	221,741	194,050
8	保険	333,017	3,507	15,038	329,510	317,979
9	国債等	10,318	1,955	4,605	8,363	5,713

(単位: 百万円)

	(期中平残)	2026年6月期	前期比		2026年3月期	2025年6月期
			前期比	前年同期比		
10	貸出金	4,396,010	119,543	207,336	4,276,467	4,188,674
11	預金・譲渡性預金合計	5,080,444	155,734	232,510	4,924,710	4,847,934

3. 自己資本比率 (国内基準)

(単位: 百万円)

	(連結)	2026年6月末	2026年3月末比		2026年3月末
			2026年3月末比	2025年6月末比	
1	自己資本比率 (2÷5)	12.60%	0.34ポイント		12.26%
2	自己資本 (3-4)	249,482	7,240		242,242
3	コア資本に係る基礎項目	277,232	7,140		270,092
4	コア資本に係る調整項目	27,750	△ 100		27,850
5	リスク・アセット等	1,978,722	3,331		1,975,391
6	総所要自己資本額 (5×4%)	79,148	133		79,015

(単位: 百万円)

	(単体)	2026年6月末	2026年3月末比		2026年3月末
			2026年3月末比	2025年6月末比	
1	自己資本比率 (2÷5)	11.85%	0.35ポイント		11.50%
2	自己資本 (3-4)	231,082	7,161		223,921
3	コア資本に係る基礎項目	254,571	7,301		247,270
4	コア資本に係る調整項目	23,488	140		23,348
5	リスク・アセット等	1,949,835	3,630		1,946,205
6	総所要自己資本額 (5×4%)	77,993	145		77,848

4. 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

(単体)		2026年6月末				2026年3月末		
		評価差額	2026年3月末比	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損
1	満期保有目的	△ 2,712	△ 462	—	2,712	△ 2,250	—	2,250
2	その他有価証券	△ 43,732	△ 2,351	13,134	56,866	△ 41,381	17,294	58,675
3	株式	9,977	△ 3,496	10,132	155	13,473	13,489	16
4	債券	△ 49,233	476	0	49,233	△ 49,709	0	49,710
5	その他	△ 4,476	669	3,001	7,477	△ 5,145	3,803	8,949
6	合計	△ 46,445	△ 2,813	13,134	59,579	△ 43,632	17,294	60,926

(注) 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

5. 金融再生法開示債権

(単位：百万円)

(単体)		2026年6月末	2026年3月末比		2026年3月末	2025年6月末
			2026年3月末比	2025年6月末比		
1	破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	3,452	447	703	3,005	2,749
2	危険債権額	43,975	△ 1,953	△ 5,002	45,928	48,977
3	要管理債権額	10,945	425	△ 103	10,520	11,048
4	小計	58,374	△ 1,079	△ 4,400	59,453	62,774
5	(合計債権残高に占める比率)	(1.30%)	(△ 0.04%)	(△ 0.17%)	(1.34%)	(1.47%)
6	正常債権額	4,402,490	49,863	204,700	4,352,627	4,197,790
7	合計	4,460,864	48,784	200,300	4,412,080	4,260,564

6. 消費者ローン残高 (単体)

(単位：百万円)

		2026年6月末	2026年3月末比		2026年3月末	2025年6月末
			2026年3月末比	2025年6月末比		
1	消費者ローン残高	1,366,240	10,054	48,282	1,356,186	1,317,958
2	住宅ローン残高	1,091,901	7,512	29,331	1,084,389	1,062,570
3	その他ローン残高	274,339	2,542	18,951	271,797	255,388

以 上

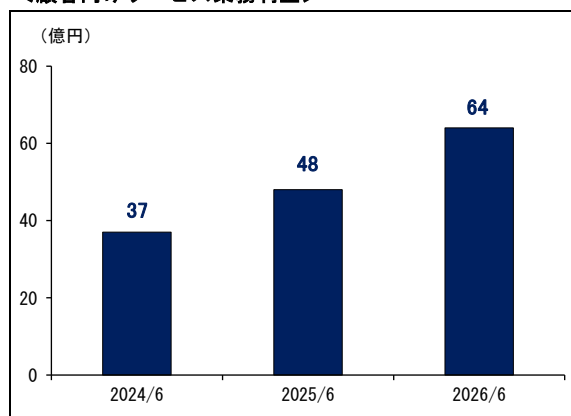
- 当第1四半期の経営成績につきましては、貸出金利息の増加が預金等利息の増加を上回ったことなどにより資金利益が増加したことや、役務取引等利益が増加したことなどから、コア業務純益は前年同期比28億円増加の102億円となりました。その他、引き続き政策投資株式の売却による縮減や低利回りの国内債の売却なども実施し、経常利益は前年同期比21億円増加の105億円、四半期純利益は前年同期比13億円増加の73億円となりました。
- 「銀行の本業で稼ぐ力」を示す重要な指標と位置付けている顧客向けサービス業務利益は、貸出金平残の増加や預貸金利回差の拡大、及び役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比15億円増加の64億円となり、順調に推移しております。

＜業績概要（単体）＞

（単位：百万円）

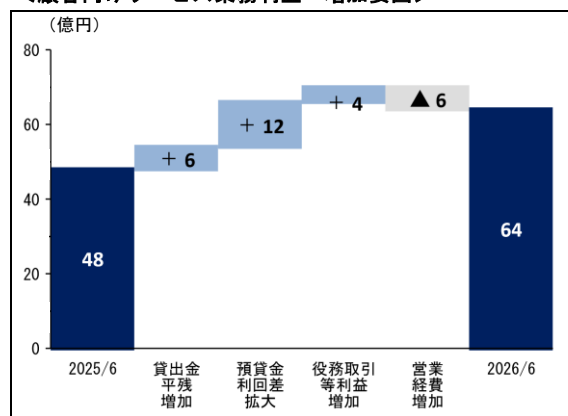
	2027年3月期 第1四半期	前年同期比	2026年3月期 第1四半期
1 業務粗利益	14,900	△ 425	15,325
2 資金利益	15,950	2,214	13,736
3 うち貸出金利息	15,873	3,218	12,655
4 うち有価証券利息配当金	3,223	△ 66	3,289
5 うち投資信託解約損益	13	△ 214	227
6 うち預金等利息（△）	3,829	1,797	2,032
7 役務取引等利益	2,807	377	2,430
8 うち役務取引等収益	4,586	460	4,126
9 うち役務取引等費用（△）	1,779	84	1,695
10 その他業務利益	△ 3,857	△ 3,016	△ 841
11 うち国債等債券損益	△ 4,864	△ 3,962	△ 902
12 経費（△）	9,541	715	8,826
13 実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	5,359	△ 1,140	6,499
14 うちコア業務純益	10,223	2,822	7,401
15 うちコア業務純益（除く投資信託解約損益）	10,210	3,037	7,173
16 一般貸倒引当金繰入額（△）	189	20	169
17 業務純益	5,169	△ 1,160	6,329
18 臨時損益	5,411	3,271	2,140
19 うち不良債権処理額（△）	457	△ 370	827
20 うち償却債権取立益	44	△ 185	229
21 うち株式等関係損益	4,612	2,863	1,749
22 経常利益	10,581	2,111	8,470
23 特別損益	△ 4	51	△ 55
24 法人税等（△）	3,276	840	2,436
25 四半期純利益	7,300	1,322	5,978
26 与信コスト総額（△）	603	△ 133	736
27 顧客向けサービス業務利益	6,409	1,539	4,870

＜顧客向けサービス業務利益＞



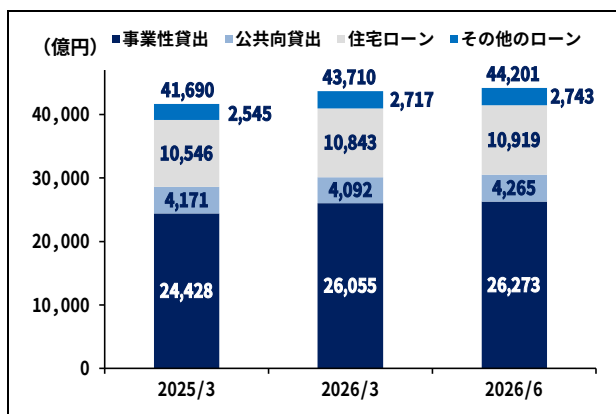
※顧客向けサービス業務利益
＝貸出金平残×預貸金利回差＋役務取引等利益－営業経費

＜顧客向けサービス業務利益 増加要因＞

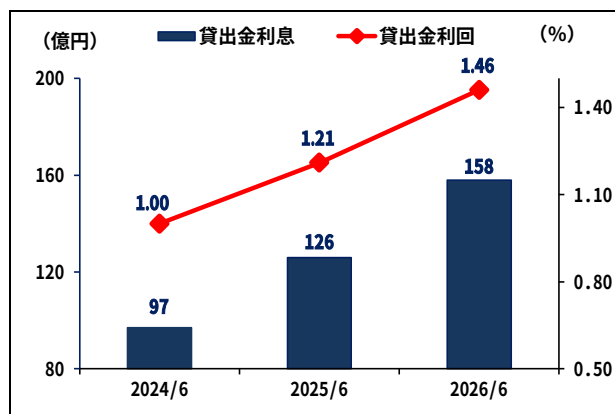


（注）業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

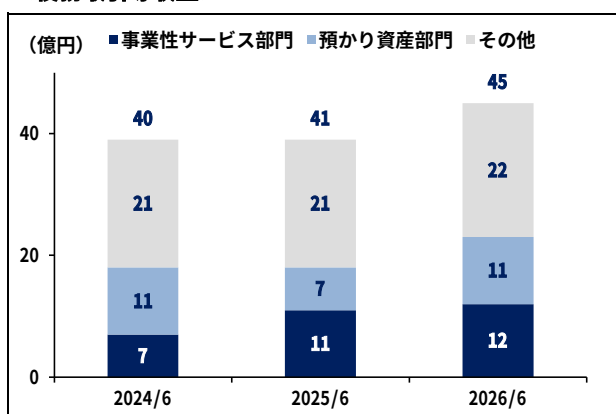
<貸出金残高>



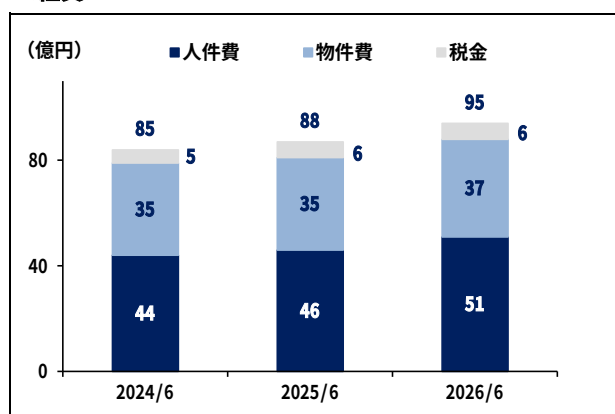
<貸出金利息・貸出金利回>



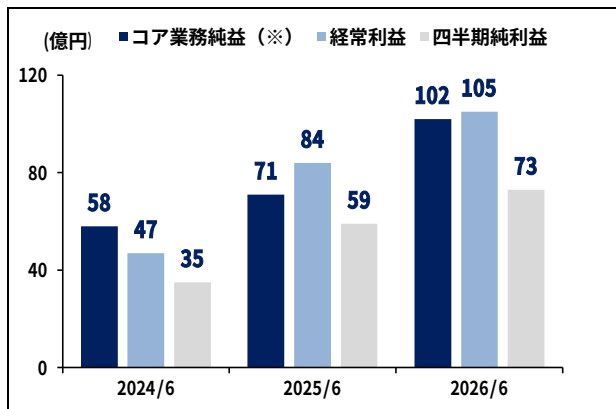
<役務取引等収益>



<経費>

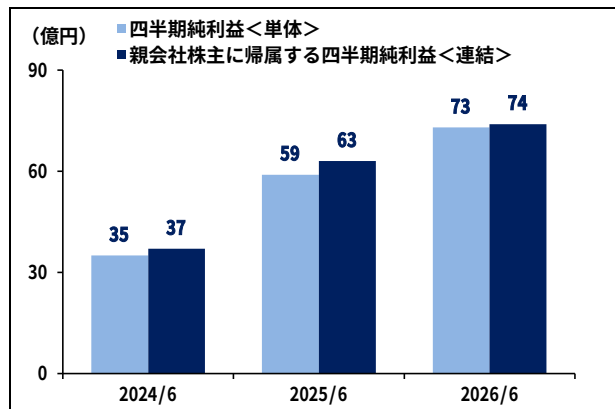


<コア業務純益・経常利益・四半期純利益>

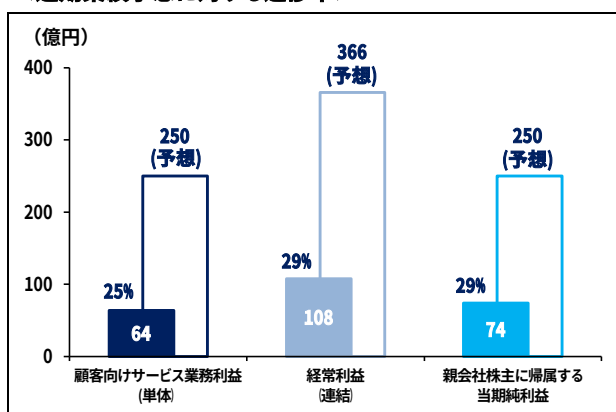


※除く投資信託解約損益

<単体・連結最終利益>



<通期業績予想に対する進捗率>



<自己資本比率>

